

報道関係各位

2003年11月5日
T-Engine フォーラム

シンガポールで海外初の T-Engine 開発拠点を開設

～ アジアにおける T-Engine 普及のハブとなる研究開発の支援拠点充実を目指し
T-Engine アプリケーション・デベロップメント・センターを開設 ～

T-Engine フォーラムと Nanyang Technological University (NTU: ナンヤン工科大学)、Economic Development Board (EDB: シンガポール政府経済開発局) および Renesas System Solutions Asia Pte. Ltd. (RSS: ルネサス・システム・ソリューションズ・アジア社) は T-Engine Application Development Center をシンガポールに開設すると発表しました。

同センターではトレーニングを含め T-Engine 利用のサポートを行い、それと連携して NTU の Center for High Performance Embedded System (CHiPES) が中心となって、T-Engine を使った研究開発を行います。

同開発センターの目的は、まずシンガポールおよび周辺の組み込みシステム開発関係者への T-Engine 技術の普及であり、トレーニング及びテクニカルサポートを行い、また T-Engine フォーラムへの参加も積極的にうながしていく予定です。

長期的には国際的な提携や開発者ネットワークの地域的な中心となることで、T-Engine ミドルウェア開発および T-Engine を利用しての組み込みシステム開発のアジアの文字通りのセンターとなることを目指しています。

10月30日にシンガポールで行われた記者会見では、T-Engine フォーラム代表・坂村健 東京大学教授、NTU コンピュータ工学部副学部長・Ngan King Ngi 教授、EDB インキュベーションユニット長 Chong Whye Keet 氏、RSS 社長・山城治 氏が壇上に並び、今回のセンター開設の意義や今後の計画などについてスピーチを行いました。

質疑応答では、記者からも活発な質問が行われて、技術開発拠点立国という同国戦略に立脚した関心の高さが伺われました。

技術開発拠点立国政策の一部として、シンガポール国内での IT テクノロジーの振興を積極的に進める EDB の積極的支援策によりこのたびの海外初のセンター開設の運びとなったもので、今後のアジアでの T-Engine 普及のハブとなることが期待されています。

今回の発表に際して、パートナーの皆様より以下のようなコメントを頂戴しております。
(五十音順)

Mr. Teo Ming Kian, Chairman of the Economic Development Board (EDB 局長)

「T-Engine アプリケーション開発センターは、シンガポールにおいて成長著しい組み込みシステム開発者コミュニティの中核的研究機関の 1 つになるでしょう。シンガポールの持つ市場接続性および専門能力を梃子とすることによって、このセンターはアジア太平洋地域全域に組み込み分野のキーテクノロジーを広められますし、さらにそれによって協力関係と新市場のための豊富な機会を提供し、新しい企業の成長を大量に産むこととなるでしょう。」

Prof. Seah Hock Soon, Dean of NTU School of Computer Engineering (ナンヤン工科大学 コンピュータ工学部 学部長)

「T-Engine 技術の普及を目指したこのたびのパートナーシップは、組み込みシステム・ソリューション分野における NTU の役割をより高めるというだけでなく、研究開発に TRON を利用する地域の企業の技術リソースのセンターとして NTU が活躍することを可能にするものです。」

山城 治 氏, Managing Director of Renesas System Solutions Asia Pte. Ltd. (ルネサス・システム・ソリューションズ・アジア 社長)

「Renesas はユビキタス・コンピューティング環境の実現を積極的に推し進めて生きたいと思っております。今回の T-Engine アプリケーション開発センターへの協力は、トレーニング及びテクニカルサポートの提供を通して、シンガポールの組み込みシステム開発の発展に貢献したいという Renesas の意思の表れです。このセンターが、組み込みシステムアプリケーションおよびミドルウェア分野における、シンガポールから世界への IP 供給を加速することを願っております。」

Renesas System Solutions Asia Pte. Ltd. (RSS) について

Renesas System Solutions Asia はシンガポール、香港、台湾における Renesas の活動を統括するエンジニアリング本部です。ルネサス テクノロジーの半導体製品を応用した製品の設計、開発をおこないます。シンガポール・エンジニアリング・センターは、マイクロコンピュータ開発ツールとミドルウェア製品に力を注いでいます。

Center for High Performance Embedded System (CHiPES) について

The Centre for High Performance Embedded Systems (CHiPES) (高性能組み込みシステムセンター) は、最新の VLSI CAD ツールと最先端の技術を使っての組み込みシステムの研究開発を行なうために、1998 年 4 月に、Nanyang Technological University の SCE (School of Computer Engineering, コンピュータ工学科) により設立されました。

CHiPES で行なわれている研究開発には以下のような分野があります。

- ・ ハードウェア加速器
- ・ 再構成可能アーキテクチャ
- ・ 高性能 算術演算器
- ・ VLSI マクロセル
- ・ IP (Intellectual Property) の再利用
- ・ システムデザインと統合化
- ・ SOC (System-On-a-Chip)
- ・ リアルタイム OS (realtime operating system) 指向アーキテクチャ
- ・ ハードウェア / ソフトウェアの co-verification (同時検証)

また次の分野の 高性能アーキテクチャの研究:

- ・ ダイナミックルーティング
- ・ 視覚 (Vision)
- ・ 画像、生医学の処理、
- ・ コンピュータネットワーク、通信、
- ・ 音声合成
- ・ オーディオ
- ・ Internet 利用

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

T-Engine フォーラム 山田 Tel : 03-5437-2260